



ニュース9号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

2つの小さな勉強会

秋山記念生命科学振興財団助成事業

11月17日（土）に小さな勉強会を開催しました。

今回は八雲病院作業療法士の田中さんをお迎えして、主に小児の導入支援や最新の支援機器事情について事例を交えながらお話いただきました。

当事者・ご家族、そして実際に訪問してリハビリに当たっている言語言語聴覚士さんなどと話し合い、充実した3時間となりました。この日は、初めて iCare ほっかいどうの事務所で勉強会を行ってみました。窓のカーテンを閉めて、プロジェクターの映像を映しました。時間の制約のないことが良い点ですね。



また11月29日には11月2回目の小さな勉強会を開催し、7名の方が参加されました。クレストの伊藤さんをお迎えし、今話題の「マイトビー」をご紹介いただきました。視線入力機器はこれまでもいくつか開発されてきたようですが、マイトビーは環境を選ばないこと、入力する人が動いてもしっかり視線を捉えることなどが優れた点のようです。ひととおりの説明が終わった後は、周辺機器の接続、給付の要件、利用する人の障害などについて、多くの質問が出されました。

デモ機を持ちたくて、ある助成金に応募したこともありますが、残念ながら落選。道内の病院、学校などがあると、少しは触れる機会が増えるかもしれませんね。まだまだ北海道ではマイトビーを見ることができない状況ですので、貴重な時間となりました。

この勉強会は狸小路4丁目にある「プロミス」の会場をお借りしました。プロジェクターも備えつけてあり、心地よい環境でした。プロミスさん、ありがとうございます。



季節は巡り・・・

今年の夏はことの外暑く、クーラーのない事務所は灼熱地獄のようでした。でも今はあっという間に、向かいの三吉神社は雪景色に変身。秋はほとんど感じられませんでした。



これまでの活動のまとめ

【今年度の活動実績】

主に、秋山生命科学振興記念財団と福祉医療機構の助成金で活動を進めています。

○ WAM研修会

- 帯広ボランティア養成研修会 (6/9)
- 苫小牧ボランティア養成研修会 (7/21)
- 室蘭ボランティア養成研修会 (9/9)
- 函館ボランティア養成研修会 (10/6)

○秋山研修会

- 恵庭ボランティア養成研修会 (7/20)
- ちょっと大きな勉強会 (札幌 8/18 19) 11月の2つの小さな勉強会 (表ページで報告)

○その他

- 登別ボランティア養成研修会 (10/28 予定)

○委員会

- 秋山財団助成委員会 (6/22)
- 福祉医療機構委員会 (7/1 8/18)

【患者支援】

一日3~4名の患者訪問を行っています。地方からの要請もあり、札幌から通うことは限界があり、各地でボランティアが育つことが緊急の課題です。とりわけ苫小牧市内には患者が多く、「毎週火曜日は苫小牧の日」と決めて訪問を続けています。この春から訪問した患者は約40名。導入のお手伝い、指導、インターネットの接続、トラブルの処理など、その内容も回数も多岐に渡っています。

現在、新日高町、今金町、旭川市、せたな町、小樽市、恵庭市、千歳市、北広島市、帯広市などからご家族、ボランティア、保健師、看護師が仲介した相談案件があります。もちろん札幌市内もあります。

【情報発信】

facebook、HP (ブログ)、秋山ブログ、ニュース (印刷物)、寄付チラシで情報発信しています。とりわけfacebookは少しずつ読者が増えています。

今後の予定

☆12月14日 (金) 小さな勉強会「レッツチャット他」18時半~21時 プロミス (狸小路4丁目 北西角)
終了後、忘年会を行います。

★iCare ほっかいどうはfacebookを始めました。http://www.facebook.com/iCarehokkaido

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 jimu@icare-h.org <http://icare-h.org/>